

災害に強いまちづくりを支えるために

地域では看護人材が不足しており、医療や介護だけでなく災害時の対応にも影響する恐れがあります。災害時の医療ケアや地域連携、防災力向上における看護の力と准看護師の魅力を学んでみましょう。

問い合わせ

いきいき健康課 ☎24・8161
小松市医師会事務局 ☎22・2714

公開講座

小松市医師会附属小松准看護学院 「災害に強い地域を支える未来の看護職」

と き 2月20日(金) 13時～14時
ところ 対面・オンライン(Zoom)によるハイブリット開催
(小松准看護学院・小松市医師会館2階)
内 容 防災と看護について
講 師 金沢医科大学 救急医学 秋富 慎司 特任教授
参加費 無料

申し込みは二次元コードから▶
※オンラインの人には招待状(URL)をお送りします。



誰でも参加可能です。
災害医療スペシャリストによる
貴重な講演にぜひご参加ください!



今月のテーマ「津波への備え」

昨年12月の青森県東方沖地震では、青森県で震度6強を観測し、津波警報が発表されました。その後、島根県や鳥取県でも強い地震が続いています。

過去には、車での避難によって渋滞が起こり、避難が遅れた例もありました。津波について正しく理解し、自分自身と家族を守るため、今できる準備を見直してみませんか。

Point 1 津波の危険がある場所と避難場所の確認

自宅や学校、職場など、津波で浸水する場所や津波の指定緊急避難場所を確認しておくで安心です。

Point 2 地震・津波発生時の行動を確認

避難の流れや「より高い場所へ避難」といったポイントを確認しましょう。非常持ち出し品や備蓄品の準備も忘れずに。



備えのススメ
わたしから
始まる防災

vol.13

問い合わせ

危機管理課

☎ 24・8150

津波浸水想定区域の
確認はこちら▶



「こまつ防災アプリ」からも津波に
関する情報を確認できます。▶

